

1 チームメンバー

- ・中山間地 SS を支援する管轄の商工会経営指導員及び商工連広域専門経営支援員で構成
- ・3か月に一回全体で進捗会議（Web）を行う
- ・チームに所属する経営指導員は支援先 SS によって変動する（現在 23 名参加、複数商工会を広域的に対応）
 座長：商工連重野副会長（木曾町商工会長）
 チームリーダー：日野広域専門経営支援員（木曾町商工会常駐）

2 支援対象 SS

33 事業所（令和 7 年 12 月現在）

地区	該当地区商工会	事業者数
東信	佐久市望月、青木村（2）	4 社
南信	富士見町、原村、伊那市、大鹿村、泰阜村、天龍村 売木村、下條村、阿智村、平谷村、根羽村（11）	11 社
中信	木祖村、木曾町、上松町、安曇野市、松本市波田 筑北村、小谷村、池田町、松川村、生坂村（10）	14 社
北信	信州新町、小川村、栄村（3）	4 社
計	26 商工会	33 社

【支援状況（抜粋）】

- ・次回会議（令和 8 年 2 月 20 日）までに全て巡回し、支援希望の有無を確認する予定
- ・ヒアリング済み事業者の主な相談内容
 事業承継の相談、タンクローリー等設備投資、災害時対応の設備相談
 JA 等大手企業からの委託経営、今後の事業継続について等
 →他後継者不在で廃業予定、大手系列の傘下にあり支援不要などの回答も一部あり

3 チームでの実施内容

(1) 県支援コンセプトの共有

「中山間地の SS は、将来にわたり“地域にとって欠くことのできないインフラ”」

県→地域合意形成から施設整備まで、SS の維持・強化、地域拠点づくりを全面的に支援

+
加えて

商工会・商工連→経営発達支援計画の新ガイドライン（R8～）で方向性を検討する際の例示あり
 （社会の安全や日常生活の維持に不可欠な役割を担うエッセンシャルサービスの例）

生活必需品の小売、給油所、自動車整備、物流（抜粋）

→事業計画策定・新たな需要の開拓支援を行い、事業者に寄り添うこと

(2) 支援の整理

支援の中で補助金の申請は大きく3つに分かれる。①②は県の市町村サポートチーム等と連携

- ① 市町村の燃料供給計画に基づく自治体 SS 承継補助金
- ② 「市町村サポートチーム」と連携した SS ネットワーク維持・強化支援事業（地下タンク入れ替え工事等）
- ③ **具体的な補助金活用については、商工会の支援領域であり即対応**
(例) 中小企業新事業進出補助金（EV 充電スタンドの設置等）

(3) 支援内容、成果物

- ・地区担当の経営指導員と広域専門経営支援員が 33 か所の SS を訪問
- ・令和 8 年 2 月 13 日までに下記ヒアリングシートを作成
- ・県産業政策課と情報共有

ア SS 支援ヒアリングシート

- ・実態に基づいたヒアリング項目を網羅

- | |
|---|
| ①営業・運営状況、②集客・マーケティング、③設備・店舗環境
④競合・立地、⑤将来展望・認識課題、⑥財務・会計 |
|---|

- ・財務分析箇所は、センシティブな部分なので支援を重ねていく中で取得する
- ・信用保証協会、金融機関等との連携も視野に入れる

イ 支援完了報告書・事業計画書

指導カルテ、報告用として活用する

(4) 支援フロー

